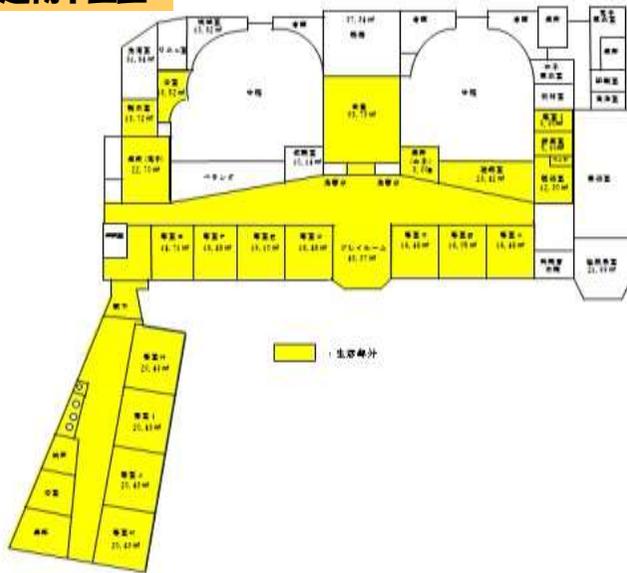




園舎全景

建物平面図



◇ 入所児童及び職員状況

児 童(定員)・・40名

職 員・・・・施設長 1、事務員3、児童発達支援管理者 1
 児童指導員・保育士 17、介助員 2、
 栄養士、調理員4 (計 28名)

◎ 施設長 中島恒夫

社会福祉法人 桐の実会
 福祉型障害児入所施設(定員 40名)
わたらせ養護園

〒376-0131

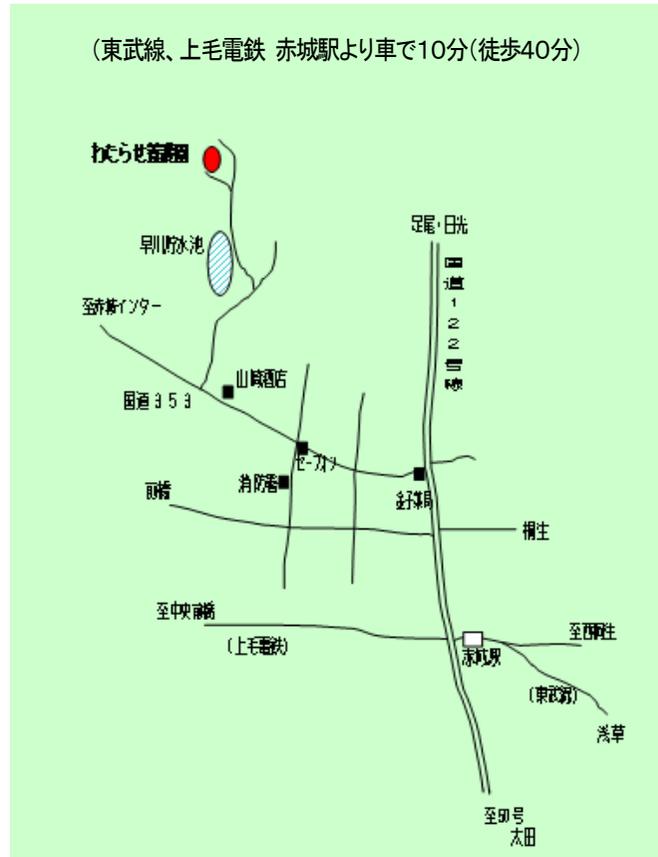
群馬県桐生市新里町奥沢59-1

TEL. 0277-74-0343

ホームページ <http://wataraseyogoen.jp/>

E-mail watarase@sunfield.ne.jp

案内図



(東武線、上毛電鉄 赤城駅より車で10分(徒歩40分))

福祉型障害児入所施設
わたらせ養護園

お父さん・お母さん

子どものことで、悩んでいること・
 心配なことはありませんか。

例えば・・・

- ☆ 食事のこと。
- ☆ 排泄のこと。
- ☆ 生活リズムのこと。
- ☆ 医療に関すること。
- ☆ 親子関係のこと。
- ☆ その他・・・・。

・・・相談してみませんか。

就園前のお子さんでもどうぞ・・・

平日は施設を開放していますので遊びに来てください。

わたらせ養護園はどんな施設

3歳～中学生までの子どもたちが、保護者(家庭)から離れて、知的障害児に必要な発達支援を通し、基本的な生活習慣、言葉、社会性などを習得するための入所型の施設です。

ねらい

お父さん・お母さんが、今、困っていること、心配していることを、期間を設け、プログラム(支援計画)により、計画的に取り組みます。

いま利用している、療育サービス、学校教育に加え、生活の場面を変えることで、更なる発達を促し、自立心を養う支援を行います。

支援プログラムの内容

1 食事の改善

- ・極端な偏食。食事のマナー。

2 排泄の改善

- ・排尿、排便の未自立。

3 生活リズムを整える

- ・睡眠時間の乱れ。

4 社会性を身につける

- ・あいさつ、礼儀を身につける。
- ・乱暴な行動、落ち着きがない。

5 親子関係を整える

- ・子どもとのやり取りで、悩んでいること。

6 その他

- ・色々な相談を受け付けます。

支援方法

■ 幼児

家庭から、特に母親から離れた時の分離不安を出来るだけ軽くし、コントロールする力を養います。

入所前、なるべく回数多く通園し、施設の生活に慣れてもらいます。入所後は面会、電話、手紙、また行事などで親子関係を出来るだけ近づけ、可能な場合は、週末帰省を行います。

1) 基本的な生活習慣(食事、排泄、着脱、清潔など)の自立を図ります。

2) 幼児期には、感覚学習、大小運動機能学習、音楽活動(リズム・リトミック)、「太鼓」の演奏。

■ 学童

分離不安を和らげ、生活の安定を図ります。日中は、スクールバスを利用し、県立渡良瀬特別支援学校に通学します。学校との連携を基に、生活、発達支援を行います。

支援プログラムを利用するための制度

1 期間を決めて利用するサービス(利用契約)

- ・ 期間は、支援プログラムにより、3ヶ月～1年位
- ・ 施設を利用するには、障害児施設受給者証を児童相談所から発行してもらいます。

2 短期入所事業

- ・ 期間は、1日～1週間程度(短期の宿泊)
- ・ 利用するには、障害福祉サービス受給者証を各市町村から発行してもらいます。

3 日中一時支援事業

- ・ 4時間まで、8時間まで、時間を決めて利用する。
- ・ 利用するには、受給者証を各市町村から発行してもらいます。

子どもたちの一日

	<幼児>	<学童>
6:00	起床	起床・朝食
7:00	洗面・歯みがき 朝食・定時排便	
8:00		
9:00		登校
10:00		
11:00		幼児発達支援
12:00	昼食	
1:00	歯みがき・午睡	
2:00		
3:00	おやつ	下校
4:00		発達支援 自由あそび
5:00		夕食
6:00		歯みがき・入浴
7:00		
8:00		
9:00	就寝	就寝

特別支援学校

